

季節は駆け足で過ぎ初夏を思わせる日もあります。それでも朝夕は肌寒さも感じるこの頃…

田の原天然公園の雪が溶けると、いよいよ植物が動き出します。ミズゴケはクロユリやコバイケイソウは… ワクワドキドキの季節が始まります。

2024年に行った笹刈り後(2025年10月現在)をお伝えします。



左の写真中央の笹を何度か手を入れて丁寧に刈り、雨が降ると水がたまるようになりました。右写真の土との境にある赤く見えているのがミズゴケです。

(白丸の中)



翌2025年、目を凝らしてよ〜く見ると、先端の竹の先からわずかにミズゴケが出ています。僅かですが、ミズゴケはしっかり前進していたのです。(*'▽')

メジャーで測る場所も決めて、少しずつデータを集めています。



笹を刈ったあとに植物が顔を出しました！

前年は一面笹だった所に、春に小さな白い花が咲くヒメイチゲや、秋に赤い実をつけるヒメタケシマラン… マイヅルソウのかわいいハートの葉もあちらこちらにあります。

ヒメタケシマラン



ヒメイチゲ



ヒメタケシマラン



マイヅルソウ

右の写真は刈り方が甘いとすぐに生えてくる笹たちです。でも笹を敵視するのではなく笹が生えにくい環境になることが大切なのです。

ふう、息の長い作業です。

マイヅルソウ

ヒメイチゲ

花が咲くのは葉が2枚になってから。今年はまだ咲かないかな…でも、待てばうれしさは倍増します。



(一社)Roots Ontake ルーツオンタケ の施工を紹介します。

健康な土の中では水と空気がよく動き、微生物や菌系がよく発達します。そして健康な土中環境の山は、雨水をよく染み込ませて、ポンプのような役割をし、山全体が大きな水瓶のようなものです。

まさに御嶽山と裾野に広がるこの地域の、目に見えない土の中の環境が健康であることは、私達が安全に安心して生活する上で、とても大切なことなのです。

田の原の施工では、雨水を排水するのではなく浸透させるために、焼杭や藁、石などを使います。人の手が大きな役割を果たします。

2025年の施工の流れをご覧ください。



重機で掘り



杭を打込み



藁を敷きレベルを見て



石をきっちり並べます



仕上がりを確認して... 足の裏の感触はどう？



隙間に藁を詰めて仕上げます



腕の見せ所です

休憩タイムでリフレッシュ
(余ったおやつにガチでじゃんけん！)



(ホシガラスも現れました！)



U字溝を一部外し石を組み、水が染み込む入り口も造っています。

少しずつ染み込んでいく水はやがて湿原へとたどり着くはずです...

編集後記

お読みいただきありがとうございます。ほしいものがすぐに手に入る世の中だからこそ、自然と静かに向き合って、答えを待つという感覚を思い出してみませんか。

次回は身近にできる庭の環境改善について特集したいと思います。



一般社団法人Roots Ontake
長野県木曾郡木曾福島1240
mail : 3067kisoontake@gmail.com